

生活保護システムセミナー

2018年 6月28日(木) ◆会場 東京国際フォーラム / ホールD1&D5
◆開催時間 13:00~16:30

No	セミナー内容	概要
1	KITACOMプレゼンツ 1 ◆特別基調講演 『生活保護受給世帯への健康支援の進め方とその効果』 ◆生活保護医療扶助適正化支援サービス紹介	特別講師 近藤 尚己氏 東京大学大学院医学系研究科准教授 (保健社会行動学分野/健康教育・社会学分野) 医師・博士(医学) 略歴: 山梨医科大学医学部医学科卒業。卒業後医師臨床研修後、ハーバード大学フェロー、山梨大学講師などを経て現職。景気動向や所得格差、地域の社会関係など、社会と健康との関係を解明する研究、健康格差対策に関する研究を進めている。 医療扶助の適正を支援する様々なサービスを紹介し、 ①サービス内容の詳細 ②先行モデル自治体における取組み・効果予測
2	KITACOMプレゼンツ 2 ◆生活保護業務の効率化支援サービス紹介	生活保護業務効率化支援サービスの紹介をおこないます。 ①AI×ビッグデータを活用したSV/CW支援サービス ②生活保護の金融機関調査・照会業務電子化の取組事例
3	KITACOMプレゼンツ 3 ◆生活保護業務システムお客様運用事例紹介	システムを活用した運用事例紹介をおこないます。 ①電子決裁・文書管理/債権管理システムの導入事例 (庁内検討～稼働～今後の課題) ②平成30年度法改正対応予定内容
4	KITACOMプレゼンツ 4 ◆生活保護システムデモンストレーション	電子決裁・文書管理システム ●紙の文書で行われている『起案・決裁』事務の電子化と、膨大な文書を電子文書として管理するシステムを紹介します。 債権管理システム ●様々な債権管理として、時効管理・交渉経過の記録機能や債権管理台帳・不納欠損一覧の作成機能を紹介し、

新サービスの概要説明

A	【新サービス】 医療扶助適正化支援サービス	●医療扶助の適正を支援する様々なサービスを紹介し、 →レセプトデータを解析することにより、効果の期待できる対象者の選定や対策実施後の効果が見える化できます。生活保護でも検討されているPDCAに則したデータヘルス実施に対応します。
---	---------------------------------	---

【東京開催事務局】
北日本コンピューターサービス株式会社
営業本部 関東第1・2営業部
TEL 048-640-1855
FAX 048-641-3155

〒330-0802
埼玉県さいたま市大宮区宮町3丁目13番地2号 大宮宮町センタービル3F
担当: 関東第1営業部/藤田・古屋
関東第2営業部/西野・吉田

福祉・滞納業務担当の方のみならず、
情報システム等他部門の方にとっても
有益な情報を提供いたします。
公務ご多用とは存じますが、
皆様のご来場を社員一同心からお待ちしております。

◎セミナーに関するお問い合わせメールアドレスは、
右記の通りです。 kanto-sa@kitacom.co.jp

滞納整理支援システムセミナー

2018年 6月28日(木) ◆会場 東京国際フォーラム / ホールD7
◆開催時間 13:00~16:30

No	セミナー内容	概要
1	滞納整理支援システム DIALOGUE StanDard1-NEXT のご紹介	ご来場の方々にリリース前の最新システムをデモンストレーションで紹介し、
2	見たい・聞きたい・触りたい! 【業務別・体感コーナー】 ◆第1ブース:分納管理 ◆第2ブース:財産調査 ◆第3ブース:処分管理 ◆第4ブース:配当・充当管理 ◆第5ブース:欠損・統計管理	下記の業務単位で最新システムを紹介するほか、実際に操作していただけるデモ機を準備してお待ちしています。 ◆各体感ブースにて来場者様が担当されている業務、または興味のある業務別の専門ブースで体感いただけます。(体感コーナーは30分×3回実施) ◆専門ブース以外にご自由に操作していただけるコーナーを用意しています。

KITACOM 滞納整理支援システム

DIALOGUE StanDard1
Next
ダイアログ・スタンダードワン ネクスト

業務革新

理想の運用を実現

従来システムに求められた自動計算や帳票作成は当然のことながら、本システムは滞納整理業務を進めるうえで各自治体が理想とする運用を実現するための様々な支援を行います。20年を超える継続開発のノウハウを集約。従来のシステムが事務処理の支援をメインとしていたのに対し、この新システムは業務全体の支援をするシステムとして創り上げました。

マネジメントの強化

組織として業務に取り組みより高い成果を出すためには全体のマネジメントが不可欠と考えます。日々変化する実態と計画の進行状況を把握・分析することをシステムが支援します。個人単位から組織単位まで、マネジメント強化を可能としました。

目標達成

業務品質均質化

目指すのは収納率の維持・向上

滞納整理業務は多くの法知識や千差万別な滞納者への対応が必要な「特殊」な行政業務。膨大な情報から必要かつ正確な情報を取捨選択するのは多くの知識と経験が必要となります。毎年、組織体制が変更する中であっても、収納率の維持・向上を目指すために、毎年の業務を均質化する仕組に加え、さらに収納に結び付く業務支援を実現します。

あらゆる処理に快適さと効率性を

情報把握、帳票発行、各種抽出などすべての処理を直感的に操作できる画面設計、そして展開・抽出処理にかかる反応速度を大幅に向上しています。操作速度の遅さによるストレスからの解放はもちろん、日常処理をスムーズに行うため各処理機能の連動性や自動アナウンスなど操作すべてに快適と効率性を伴ったスピード感ある処理が可能です。

間接事務排除

セミナー参加FAX申込用紙は裏面にあります。
★中央の点線で切り取り、送信してください。